

第2回 持続可能な都市づくり懇談会 発言要旨一覧

発言骨子	要 旨
都心のあり方・整備の方向性	<p>○都心地区が骨太になっていかないと、中心がどこにあるのか明確にならず、都市の顔が見えてこない。</p> <p>○機能を一極集中する必要はなく、都心軸がしっかりすればよい。</p> <p>○駅周辺など、これから作るものについて、都心軸の中でも優先度をつけるなどのメリハリが必要。</p> <p>○古町や万代、駅南、水辺など、それぞれ異なる文化の特色をブラッシュアップすることが必要。</p> <p>○持続可能な都市づくりの根底にあるのはシビックプライドのような、ソフトの部分での調整が必要。</p> <p>○新潟市は城下町ではないので、仙台や金沢に比べてシンボリックなものがないが、港を活かしたシンボリックなものがあるとよい。</p>
古町の位置付け	<p>○古町は新潟駅からの交通の便はよいので、新潟駅から万代を抜けたら奥座敷といった形の表現をしたほうがよい。</p> <p>○人が集まる拠点として、今の古町には弱く感じている。都心軸の一辺として機能しているのか見ることが必要。</p>
古町への集客方策	<p>○古町には観光客の目的地となるポテンシャルを持っているが、認知度が低いので、情報発信などについて打ち出すことが重要。</p> <p>○駅から古町に行くまでの楽しみをどこで演出できるのかが大事な観点になる。</p> <p>○古町に何を見に行くのか、古町の人々が歴史をどこまで大事に思っているのかまちづくりの中で見直すことが重要。</p> <p>○古町には遊び場やトイレなどの機能が少なく、子どもが一定時間、滞在できる空間作りがないと子育て層を呼び込めない。</p> <p>○古町は人の温かさがあるので、ハード面が整うと子供連れでも行きやすくなる。</p> <p>○新潟と港を結びつけ、花街文化や工業系の発展など、古町の歴史のストーリーを情報発信することで新潟のよさが見えてくる。</p> <p>○駅から古町まで歩く中で色々な文化を味わいながら歩けるようなまちづくりが必要。</p>
駅南エリアのあり方	<p>○駅南エリアは民間投資のポテンシャルを秘めているので、広域圏からの交流人口を増やす拠点として、ターミナル機能だけでなく、低未利用地を活用した人を集約できる場所を演出できるとよい。</p> <p>○投資する価値を見出すため、機能を充実させる投資にも大手ディベロッパーなどは期待している。</p>
信濃川の活用	<p>○まちなかに大きな川がある都市は珍しいので、信濃川の打ち出し方についての検討が重要。</p>

	<p>○新潟市の魅力的な場所として挙げられるのは、信濃川と萬代橋であり、この場所に色々な人と交流できる空間を作れるとよい。</p> <p>○川と都心軸（道路）が交差する空間は魅力的なので、投資できるような仕組みが構築できるとよい。</p>
新潟駅の高架化による展開	<p>○新潟駅の高架化により南北の分断が解消されることを明記したほうが良い。</p> <p>○駅が高架化したときのイメージを実現するためにも、駅南から市民病院までの BRT 運行を早めに開始し、それに付随する事業がスムーズに展開できるようになるとよい。</p>
新潟駅周辺の交通機能のあり方	<p>○自動運転バスの都市部での運行など、未来性や夢を持たせるような大胆な都心の性格付けを行い、都市を特徴付けるようなやり方が必要。</p> <p>○国際交流拠点として、朱鷺メッセ、新潟港、新潟空港、新潟駅において来街者の利便性を築き上げることが重要。</p>
企業誘致のあり方	<p>○新潟駅周辺には中規模のオフィス需要があり、機能が充実すれば東京など人口の多い都市からの需要もある。</p> <p>○駅周辺のオフィスビルは老朽化して天井高が低かったり、近所に機能がない場所にはオフィスは貼り付きにくい。</p>
関連分野の集積	<p>○駅南における IT 系企業の誘致など特定の産業集積があるとよい。</p> <p>○特定分野の産業集積と併せて、関連する教育関連や研究関連の集積により、新しい産業と人材育成を併せた仕組みがあるとよい。</p>
地域拠点の機能	<p>○地域拠点では、医療と高齢者をどうつなぐかが重要で、機能だけでなく、それらを結ぶ移動手段の確立がポイント。</p>
交通機能の改善	<p>○新潟県は通勤時間が全国で一番短く、通勤しやすい都市であるが、バス路線の乗り継ぎ、停留所の位置が他の交通機関と連携していない等の課題があり、改善が必要。</p> <p>○移動ネットワークをつなげていく視点から、弁天 IC の片側インターなど不便な箇所が解消されるとよい。</p> <p>○古町は駅から入りやすいが、東西から入りにくいので、道路整備などの検討が必要。</p>
誘導区域の考え方	<p>○都市機能誘導区域や居住誘導区域を考える際に、地域拠点・生活拠点の定義を明確にすることが必要。</p> <p>○居住誘導区域の線引きは、個々の利害や地域の将来を決めることになってしまうので、定義付けは重要。</p>